



# 消防千葉

2022 No.592 令和4年12月号

## 目次

巻頭言(富津市消防本部消防長)	2
第29回全国消防操法大会	3~5
第58回消防殉職者慰霊祭	6・7
令和4年度全国女性防火クラブの集い	8
令和4年度消防団員指導員研修	9・10
わが町の消防団(勝浦市消防団・栄町消防団)	11・12
東西南北	13
日々の動き	14



海の駅九十九里(いわし資料館)山武支部

## 巻 頭 言

## 「市民と消防の連携」

富津市消防本部 消防長 牧野 安浩



日本における大雨の発生数が長期的に増加傾向にあるのは、地球温暖化が影響している可能性があり、地球温暖化が今後進行した場合、「日降水量100mm以上などの大雨の発生数が日本の多くの地域で増加する」という予測結果が出ていることから、集中豪雨や台風が多発する夏期の防災が大きな課題となってくると考えられます。富津市は、平均気温は15℃前後で年間平均降雨量は2,000mm程度であり、春と秋に降雨量が多く特に雷や台風によるものは降雨が急激であるため、日雨量が多く排水しきれず出水の原因となっています。

また、山間部や河川が多く南北に約40キロメートルに及ぶ海岸線があり、高潮被害や山間部の土砂崩れなど、甚大な被害が懸念されます。近年の災害は、令和元年9月9日の台風15号（房総半島台風）及び10月12日の台風19号（東日本台風）において、住家被害は全壊48棟、半壊230棟、一部損壊3,586棟、ライフラインの被害として停電31,700軒（最長17日間）、断水2,115戸（最長11日間）などの被害が市内全域において発生しました。

さらに10月25日の台風21号に伴う大雨による水害に立て続けに見舞われたことで「自らの命は自ら守る」とする自助、「自分たちのまちは地域みんなで守る」とする共助の防火意識が市民の間で高まり、「自主防災組織」の設立や防災に関する講座の依頼、防災対策についての間合せが増加しました。そのため、当市では、被害を少しでも軽減するために各地域の特性に即した防災訓練の開催や富津市防災ハザードマップを作成し、市民に配布して日頃から「いざという時の備えについて」を周知しており、地域防災計画も定期的に修正し、防災対策に万全を期すよう努めております。

一方、地域を守るために必要不可欠である消防団は、当市においても人口の減少や就業構造の変化は著しく、団員数が徐々に減少していることから、団員の確保が切実な問題となっています。新型コロナウイルス感染症発生から約3年が経過し、大規模な行事が次々と中止となる中、危機感を抱いた消防団は最大限の感染防止対策を行ったうえで、防災力の低下を防ぐことを目的とした放水訓練や資器材取扱い訓練などを継続して実施しています。

地域防災にとって消防団が唯一無二の存在であるとの共通認識が深まるように自然災害時に頼れる地域の消防団を目指し、避難訓練にも積極的に参加しながら市民との連携強化に努めています。消防本部も令和元年災における被災家屋の応急処置として実施した屋根へのブルーシート展張作業や自衛隊の災害派遣を受けた側の消防機関としての経験を災害現場経験の少ない若手職員に災害対応の知識・技術の一部として伝承していくことは重要な課題であり組織を挙げて取り組んでいるところであります。

今後とも、「誇りと愛着が持てるまち ふつつ」を目指し、職員一丸となって消防力の充実に取り組んでまいります。

## 第29回 全国消防操法大会の開催 (令和4年10月29日、於千葉県消防学校)

10月29日（土）、総務省消防庁及び（公財）日本消防協会が主催（協力 千葉県、市原市、（公財）千葉県消防協会、千葉県消防長会）する第29回全国消防操法大会が千葉県消防学校において開催されました。

大会は、新型コロナウイルス感染拡大による中止を経て3年ぶりの開催となりましたが、引き続き感染拡大防止対策に配慮し、参加者の絞り込み、イベントの自粛など規模を縮小して開催されました。当日は秋晴れのなか、44都道府県の代表がポンプ車の部21チーム、小型ポンプの部24チームが出場して日頃の訓練の成果を競い合い、消防操法技術の向上と士気高揚を図りました。



午前9時からの開会式では、開会宣言、国旗掲揚に続き第26回大会で優勝した栃木県益子町消防団（ポンプ車の部）、滋賀県日野町消防団（小型ポンプの部）から優勝旗の返還の後、尾身総務副大臣及び秋本日本消防協会長からの挨拶がありました。

その後、来賓の祝辞、歓迎の辞、選手宣誓、消防応援団による激励が行われ、10時から操法が開始されました。千葉県からは、7月30日に行われた千葉県消防操法大会において優勝した市川市消防団（ポンプ車の部）、松戸市消防団（小型ポンプの部）が出場しました。



秋本日本消防協会長挨拶



熊谷千葉県知事祝辞



小出市原市長歓迎の辞



消防応援団による激励

県代表消防団の操法開始前には出場選手激励会が行われ、熊谷千葉県知事、佐野千葉県議会議長、石橋千葉県消防協会長から激励の言葉が贈られました。

演技が開始されると、流石に各県の代表であり指揮者の力強い号令のもと、きびきびとした動きで技の速さ、正確さを競い合い、応援する関係者の見守るなか素晴らしい演技が展開されました。



出場選手激励会



市川市消防団



松戸市消防団

競技終了後、アトラクションとして市原市立国分寺台東小学校・少年消防クラブによる「操法訓練」と「防火の誓い」が披露され、児童の皆さんの真剣な表情、一生懸命な姿に盛大な拍手が送られました。



審査の結果は、鶴巻審査長（消防大学校長）から発表され、優勝は、ポンプ車の部は中種子町消防団、小型ポンプの部は新宮町消防団となり、市川市消防団はポンプ車の部で見事準優勝を獲得し、2番員の三谷昌秀団員は優秀選手となりました。閉会式では石橋千葉県消防協会長の万歳三唱の後国旗降納、閉会宣言となりました。



市川市消防団



石橋会長による万歳三唱

◆出場選手

	市川市消防団			松戸市消防団	
団 長	安達 博			小嶋 功	
担 当	階 級	氏 名	階 級	氏 名	
指揮者	班 長	藤 井 丈	副分団長	松 本 和 哉	
1 番員	団 員	大 木 海 翔	分 団 長	松 本 和 貴	
2 番員	団 員	三 谷 昌 秀	班 長	三 浦 亮 介	
3 番員	団 員	松 丸 正 典	班 長	森 谷 寛 之	
4 番員	団 員	三 谷 昌 則			
補助員	副分団長	早 瀬 巧	団 員	伊 藤 友 博	



●第 29 回全国消防操法大会・成績表●

	ポンプ車の部			小型ポンプの部	
順 位	都道府県名	消防団		都道府県名	消防団
優 勝	鹿 児 島 県	中種子町消防団		福 岡 県	新宮町消防団
準優勝	千 葉 県	市川市消防団		秋 田 県	三種町消防団
〃	石 川 県	穴水町消防団		神 奈 川 県	横須賀市消防団
〃	岩 手 県	北上市消防団		高 知 県	高幡消防組合梶原消防団
優良賞	新 潟 県	上越市消防団		岐 阜 県	瑞穂市消防団
〃	青 森 県	階上町消防団		北 海 道	日高西部消防組合日高消防団
〃	広 島 県	福山市消防団		福 井 県	大野市消防団
〃	岡 山 県	知気町消防団		富 山 県	富山市消防団
〃	島 根 県	松江市消防団		栃 木 県	益子町消防団
〃	奈 良 県	葛城市消防団		長 崎 県	五島市消防団

◆優秀選手

	ポンプ車の部			小型ポンプの部		
指揮者	岩 手 県	北上市消防団	小原 享悦	秋 田 県	三種町消防団	信太 良行
1 番員	福 島 県	富岡町消防団	佐藤 高広	秋 田 県	三種町消防団	田村 悠人
2 番員	千 葉 県	市川市消防団	三谷 昌秀	三 重 県	亀山市消防団	中瀬 智
3 番員	京 都 府	京丹波町消防団	山内 陽介	神 奈 川 県	横須賀市消防団	白井 翔
4 番員	石 川 県	穴水町消防団	小栗 哲也			

## 第58回 消防殉職者慰霊祭の開催

令和4年11月15日(火)に「第58回消防殉職者慰霊祭」が、千葉県及び公益財団法人日本消防協会の後援のもと、千葉県消防学校屋内訓練場において、御遺族、来賓、消防関係者など約160人の参列をいただいて、午前10時から厳粛に執り行われました。この慰霊祭は、郷土防災の使命を果たしてその職に殉じた御霊を慰め、併せて消防士気の高揚と防災思想の普及を図るため毎年実施しているもので、今年で58回目となりました。

合祀されている殉職者は、消防組時代29柱、警防団時代11柱、消防(局)本部・消防団時代の50柱、そして消防協力者6柱、合わせて96柱となっています。

式典は安達消防協会副会長の開式のことで始まり、慰霊碑に拝礼の後、国歌演奏が行われ、司会者の案内により消防殉職者96柱の御霊に対し参列者全員が黙とうを捧げました。

その後、芝岸消防協会副会長から、「私達消防人一同は、御霊の御遺訓を受け継ぎ心新たに団結を強め、地域防災に力を尽くし安全で安心な社会を実現するため精進努力することを誓います。」と式辞が述べられました。

次に熊谷千葉県知事から、「皆様が身をもって示された崇高な志は、今もなお32,000の消防人に脈々と受け継がれるとともに、最愛の肉親を失われた御遺族の胸中にも大きな誇りとして生き続けていることと存じます。県といたしましても、防災関係機関と一致団結し、決意を新たに防災対策の一層の充実に努めていくことを、皆様の前でお誓いいたします。」と追悼のことがばが捧げられました。



消防殉職者に対する黙とう



芝岸副会長の式辞



熊谷知事の追悼のことがば

その後、千葉県市長会副会長太田いすみ市長及び千葉県町村会副会長小坂酒々井町長から追悼のことばがあり、最後に、日本消防協会秋本会長からの追悼のメッセージが披露されました。続いて御遺族、来賓、関係者の方々から、消防殉職者慰霊碑に献花が行われました。



太田いすみ市長の追悼のことば



小坂酒々井町長の追悼のことば



御遺族の献花



最後に、遺族を代表して中山崇広様から「故人の在りし日の消防活動に励む姿を忘れず、地域防災に身をささげたことを大きな誇りにして、これからも、日々、力強く生きていく所存でございます。」とのお礼のことば及び芝岸消防協会副会長からのお礼のことばが述べられ、吉野消防協会副会長の閉式のことばにより、消防殉職者慰霊祭は終了しました。



お礼のことば（中山遺族代表）



第58回 消防殉職者慰霊祭 令和4年11月15日

※今年の慰霊祭は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から規模を縮小して実施しました。

## 令和4年度「全国女性防火クラブの集い」

千葉県婦人防火クラブ連絡協議会 監事 黒肱 博子

令和4年度の「全国女性防火クラブの集い」が東京麹町のルポール麹町にて10月27日、28日に開催されました。次第は主催者、来賓のあいさつに続き、令和4年度一般財団法人日本防火・防災協会会長表彰が行われました。

基調講演は大阪芸術大学放送学科教授の平野啓子氏による「語り伝える防災の心」で、普通は（古文書などの）報告書には書かれていない事ですが語り継がれるべき話だと思つと「稲むらの火」を語り、災害教訓の伝承に体験を交えた充実の内容でした。

次は総務省消防庁防災課長野村政樹氏の「大規模災害に備える」で

1. 災害対策の基本的な仕組み
2. 近年の大規模災害
3. 災害対応力強化のための研修等
4. 住民避難
5. 地方公共団体における業務継続について

等、60ページ近い内容ながら明るい声色とパワーに引き込まれる講演でした。

続いて総務省消防庁予防課長白石暢彦氏の「住宅防火対策に係わる最近の取組等」で

- ・住宅火災が一番危ないって本当？
- ・住宅火災による死者で多いのは？
- ・危険な火災はどこから発生するの？
- ・危険な火災はどこに燃え移るの？
- ・住宅火災で一番危ない時間帯は？
- ・住宅用火災警報器を設置していますか？
- ・住宅用火災警報器の維持管理方法は？
- ・住宅火災はどうすれば防げるの？
- ・全国火災予防運動について

最新の情報が回答・説明され、リズムよく受講出来ました。

二日目の「第21回応急手当普及啓発推進会議」は（一財）救急振興財団理事長の挨拶から始まり、令和4年度普通救命講習会実施状況等について奈良県と長崎県の会長から報告がありました。

コロナ禍以降の講習会でありながら活発な活動に力を頂きました。

最後の講演は総務省消防庁救急企画室室長に変わり、飯田救急専門官が「救急業務の現状と課題」を講演されました。

救急搬送の現状、歴史、活動時間の推移、年齢構成、事故種別・傷病の程度等々を網羅した内容でした。又、救急安心センター（#7119）やスマホアプリ（Q助）の紹介、応急手当の救命効果など多岐にわたる内容でした。

講演者と受講者の熱量にあふれる充実の2日間は、一般財団法人日本防火・防災協会理事長の挨拶によって締めくくられました。

### 全国女性防火クラブの集い

主催 一般財団法人 日本防火・防災協会



### 全国女性防火クラブの集い

主催 一般財団法人 日本防火・防災協会



（右側が黒肱監事です）



## 令和4年度 消防団員指導員研修の開催 (11月19日(土)~20日(日))

新入団員や比較的経験の浅い消防団員の教育訓練にあたる消防団の副団長、分団長など幹部を対象にした指導員の養成研修が、11月19日から20日の2日間の日程で千葉県消防学校において開催されました。

研修には26所属、32名が参加し、19日9時から入校式が行われ、国歌演奏、入校生指名点呼の後、石橋消防協会長の式辞、県消防学校長（代理中野副校長）及び吉野消防協会副会長（館山市消防団長）の挨拶がありました。その後「研修指導・住民指導」や「幹部の心得」などの講義を受け、午後からは屋外訓練場において「訓練礼式」及び「火災防ぎょ・水災活動」の実地訓練を行いました。

翌日は、8時30分の朝礼に続き、「訓練礼式」「救助活動・救命活動」及び「災害情報収集・伝達」の研修を行い、午後3時30分からの修了式では、全員に日本消防協会修了証書が授与され、全課程を修了しました。



石橋会長式辞



消防学校長（代理 中野副校長）挨拶



吉野副会長挨拶



○研修の状況



訓練礼式



ドローン操作訓練



実火災訓練



ホース展張訓練



救助活動訓練



救命活動訓練



災害情報収集・伝達訓練



修了証書授与

## わが町の消防団 ① 勝浦市消防団

外房に在って太平洋に面する勝浦市は、400年ほど前から日本三大朝市の一つである「勝浦朝市」に代表される物産の集積地として栄え「勝浦三町江戸勝り」とも称されました。大正時代に入ると、外房線の延線に伴い海水浴場としても大変な賑わいを見せるとともに、昭和初頭には勝浦漁港の岸壁と防波堤が整備された



結果、他市町村の漁船も集まる港町となり、豊かな海山の幸と観光という、勝浦市を特徴づける大きな要素が確立され現在に至ります。また、太平洋に突出した当市の地理条件を生かし、大正6年に勝浦灯台、昭和16年に日本初のレーダー、そして昭和43年には宇宙開発事業団が電波追跡所を設置するなど、その時代の最先端技術とともにあった市でもあります。



こうした環境の中、当市消防団は黒川民雄団長以下、6分団30班、約380名の団員で構成され日々訓練に励みつつ有事に備えておりましたが、令和2年以降の新型コロナウイルスまん延では各種行事が次々と中止・縮小を余儀なくされるという、消防団始まって以来の異常事態となりました。消防操法大会や出初式など毎年の恒例行事の中止をはじめ、年末特別警戒の少人数実施やマスクを着用した息苦しい状態での消火活動など、少し前には想像もできなかった事態に当初は戸惑いも感じておりましたが、今年度に入り人数制限付きながらも訓練や各種行事が再び行われつつ有る状況です。特に令和4年10月30日に開催された地域住民の津波避難訓練は3年ぶりの開催となりましたが、消防団員による避難誘導の他、初めての試みとして自衛隊車両による避難者輸送が行われ、消防団との間における通信や輸送時の

連携作業なども行われました。

しばらくは新型コロナウイルス対策が必要な日々が続くと予想されますが、当市消防団はウイルスに負けないという意志を持ちつつ市民の生命と財産を守るべく消防知識の研鑽に努めてまいります。



## わが町の消防団 ② 栄町消防団

栄町は、千葉県の北部、利根川流域に位置し、東は成田市、南は印旛沼、西は印西市、北は利根川を挟んで茨城県に接したところに位置しています。近年、安食駅を中心とした一部周辺区域は、首都圏近郊の住宅地として社会経済環境は大きく変わりつつあります。栄町消防団は令和4年4月1日現在で19名の女性を含む241名、団本部と6分団18部で消防ポンプ車7台、小型動力ポンプ付き積載車15台を保有し、地域防災の要として災害対応を行っています。

栄町は一級河川である利根川を管轄し、過去には大きな水害も発生していることから、特に水防訓練に力を入れ、利根川の増水を想定し堤防等の越水を防ぐ「積み土のう工法」、決壊を防ぐ「月の輪工法」等の伝統的な水防工法を消防職員と連携を図り訓練を実施しています。

次世代の消防団員を育成するため、平成28年度に町内の小学4年生から中学3年生による「少年消防団」を発足させました。少年消防団の活動は、主に規律訓練、防災センターなどの視察研修、町の防災訓練、広報活動など年間8回程度を行っています。



災害時に女性の視点から、きめ細やかな気配りで避難誘導や避難所での支援活動などを行い、地域の安全・安心を守る新たな力として、平成30年度に機能別分団女性部を発足しました。救急講習では、応急手当普及員として、AEDの使い方などの住民指導に取り組んでいます。また、火災予防啓発では、地域イベント時や、火災予防週間に合わせ、スーパーなどで広報活動を行っています。近年、大地震や気候変動による集中豪雨などの自然災害が増加することが危惧されています。

そうした中では、地域住民との信頼関係の厚い、町内在住者・在勤者である消防団員だからできることがあります。消防団員は、平時1人ひとりがそれぞれの職業に従事しながら「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護の精神の元、住民に最も身近で地域に根ざした地域防災リーダーとして、町民の安全・安心を守るため、消防団員が一丸となり活動して参ります。



災害時に女性の視点から、きめ細やかな気配りで避難誘導や避難所での支援活動などを行い、地域の安全・安心を守る新たな力として、平成30年度に機能別分団女性部を発足しました。救急講習では、応急手当普及員として、AEDの使い方などの住民指導に取り組んでいます。また、火災予防啓発では、地域イベント時や、火災予防週間に合わせ、スーパーなどで広報活動を行っています。近年、大地震や気候変動による集中豪雨などの自然災害が増加することが危惧されています。



# 東 西 南 北

## 市原市消防局スクラムフォースが【トミカ】に仲間入り！ 市原市消防局

市原市の魅力の一つである「安心・安全」なまちを全国に発信するため、この度株式会社タカラトミーと消防局がタイアップし、本市八幡消防署に配備する国内唯一の消防ロボットシステム スクラムフォースが【トミカ】として12月に発売されます。

明るく楽しい話題の提供と同時に、消防業務普及の一助を担えれば幸いです。



## 風水害対応訓練を実施 柏市消防局

柏市消防局では、異常気象や集中豪雨に対応するため、令和4年6月16日（木）に大規模な風水害を想定した「倒木・伐採訓練」を実施しました。

チェーンソー取扱い要領や切断手順、危険要因について事前に確認した上で、樹木を倒す方向や、切断する角度について隊員間で話し合い、実際にチェーンソーによる切断を行うことで、災害現場をイメージした実践的な訓練となりました。

今後も、いつ起こるかわからない災害に備え、災害対応力の向上に努めていきます。



## 流山市消防団夏季訓練を実施 流山市消防団

流山市消防団は令和4年6月5日（日）、全消防団員を対象に夏季訓練を実施しました。

この夏季訓練は、消防団員が災害現場等で活動するうえでの知識、技術の向上を目的として実施したもので市内22個分団167名の消防団員が参加しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に万全を期し、消防団員として活動するために必要な規律や礼式を習得するための「規律訓練」、火災が発生した際に迅速に消火活動を行うための「ポンプ操法訓練」を実施した後、消防団員等公務災害補償等共済基金から講師をお招きして、災害現場活動する際に自らが受傷しないための「安全管理に関する研修」を行いました。



# 日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

## 令和4年12月

- 1日・2日 令和4年度関東甲信地区消防協会事務局長会議(松本市)  
23日 千葉県消防協会臨時理事会(千葉市)

**2022年度 全国統一防火標語**  
**「お出かけは マスク戸締り 火の用心」**

### 令和4年 冬の交通安全運動

12月10日(土)から12月19日(月)までの10日間

#### スローガン

～ 飲酒運転は絶対しない、させない、許さない ～

1. 飲酒運転の根絶
- 【運動重点】 2. 子供と高齢者を始めとする歩行者の安全確保
3. 自転車の交通ルール遵守の徹底

#### <表紙の説明>

#### 海の駅九十九里 (いわし資料館) 山武支部

江戸時代に木綿が急速に普及するにつれて、その栽培に効果的な肥料が求められました。それに  
応じて「干鰯<sup>ほしか</sup>」を大量供給するために、九十九里のいわし漁の歴史が始まったと言われています。

それから約400年間の間に、いわしの豊漁期は5回訪れ、九十九里浜はいわし漁でにぎわいました。

いわし資料館では、いわし漁で栄えた九十九里の歴史・文化について鮮やかな資料を展示しています。

また、いわしの美味しい食べ方を展示した「イワシの食文化」のコーナーもごぞいます。

海の駅九十九里内にある「いわし資料館」に訪れてみてはいかがでしょうか。



#### <記事の訂正について>

令和4年10・11月号の3ページ「第173期消防職員初任科生卒業式」中で、卒業生答辞をされた方のお名前に誤りがありましたので、お詫びし訂正いたします。

御迷惑をお掛けし大変申し訳ございません。

(誤) 浦安市消防本部 田上皓基 ⇒ (正) 市川市消防局 瀧田裕司